

吉井放課後子ども教室【西条市】

～未来を担う子どもたちに地域の力で豊かな経験を～

◆活動の目的・理念

- 地域の教育力を活かし、子ども同士の交流を深める。
- 児童が安全で安心して活動できる場や機会を提供する。

活動場所	吉井公民館		対象学校区名	吉井小学校		子どもの平均参加人数	3人/日		
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	1日		13:30～15:30	児童クラブ	一体型			
	土・日・休業日等	6日	夏季休業中の月～金	13:30～15:30	との連携	吉井児童クラブ			
活動のべ日数 7日	学習活動	日	スポーツ	日	文化芸術	日	体験活動	7日	
協働活動支援員のべ人数 20人		人		人		人		20人	
							交流活動	日	
								その他	
								人	
協働活動サポーターのべ人数	0人			ボランティアのべ人数	0人				
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布		参加費用	なし		連携・協力機関・団体	吉井公民館 吉井児童クラブ		

取組の概要

<主な取組内容>

●プログラミング教室

- ・児童がプログラミングの楽しさを味わうとともに達成感を感じられることをねらいとし、少人数で実施している。
- ・自分が組んだプログラムをロボットカーに転送し、目標物を回ってスタートに戻るなど意図した動きをするまで試行錯誤した。

児童の感想

- ・最初は思ったところに車が進まなかったけど、少しずつプログラムを直したらうまく進むようになってうれしかった。

●電気の実験教室

- ・身近な科学現象に興味をもつきっかけになることをねらいとし、「電気を通すものチェッカー」づくり、手回し発電機でシャープペンシルの芯を燃やす実験、電気パンづくりなどを行った。

児童の感想

- ・いっぱい力を使って暑くなったけど、びっくりすることがたくさんあって楽しかった。家でも実験したい。

<特色ある取組>

●実物に触りながら

- ・本教室では、実際に物を動かす経験を通してプログラミングについてより深く理解したり達成感を味わったりしている様子がみられた。
- ・乾電池と手回し発電機を使うことで電流の大きさの違いを体感できた。

●友だちと一緒に

- ・プログラムや車の動きを友だちのものと比較することによって、プログラムの意図を理解していた。
- ・理科が好きな児童が集まったので、学年に関わらず意見を交わしながら楽しく活動することができた。

	時間帯	活動内容
月	13:30～15:30	プログラミング教室
火	13:30～15:30	プログラミング教室
水	13:30～15:30	プログラミング教室 電気の実験教室
木	13:30～15:30	プログラミング教室
金	13:30～15:30	プログラミング教室
土		



友だちのプログラムをみてみよう

ねらったように進むかな？



人力でシャープペンの芯を燃やそう！

事業を実施して

【成果】

- リピート率が高く、前年に続いて参加した児童は車がより難しい動きをするようなプログラムを組むなど、技能の定着・発展がみられた。
- 学校や家庭ではあまり扱われない実験を体験した感動を、家族や友だちに共有してくれる児童がいた。

【課題】

- 教室継続のためには、次世代の指導者が必要である。後継者については、公民館や学校と連携して確保していきたい。
- 児童のプログラミング・科学への興味・関心を一層高め、発想力、思考力の向上を図りたい。